

兵庫県保険医協会北阪神支部 < 2025 年度方針 >

- 1、わが国では国民皆保険の下、全国民の健康と命を守るシステムを構築してきた。しかし、政府による「マイナ保険証」の強要と、従来の保険証廃止方針により、医療提供体制に支障をもたらしたことは看過できない。依然として、マイナ保険証はトラブルが相次ぎ、医療現場に混乱が起きている。保険医協会は、国民の受療権を守るために、被保険者全員に対する「資格確認書」の職権発行を求めるとともに、公的医療保険の根幹である保険証を復活させることを訴える。また保険医療機関に不合理な経営負担を強いる「オンライン資格確認義務化」に反対するものである。
- 2、医療・社会保障制度の充実と、公的医療保険制度の拡充・診療報酬制度の矛盾点の改善を目指し、地域間の情報交換や情勢討議、会員・市民と対話する企画の充実をはかる。
- 3、「社会保障・税一体改革」に基づく社会保障切捨て施策の実行を阻止するために、地区医師会など他団体との懇談、交流を推進する。
- 4、老人会や自治会との語り合う会を開催し、予防医学的な健康増進の話とあわせて、医療改悪の実態を住民に広く知らせていく。会員拡大は、新規開業医を中心に組織率を上げていき、協会県平均をめざす。また、支部活動活性化のため、医科・歯科若手役員の確保に努める。特に、川西市・猪名川地域での支部幹事発掘に努める。
- 5、在宅医療研究会、臨床研究会などを開催し、地域医療の連携をはかるとともに、医科・歯科一体の活動を強め、共通するテーマで研究会を開催する。
- 6、職員接遇研修会、医療安全管理対策研修会などをスタッフ研修の一環として開催する。
- 7、医院経営問題や労務問題など、会員が共通するテーマでの会員懇談会を開催し、自由にディスカッションできる場をもつ。
- 8、会員や家族、従業員が気軽に参加できる、文化行事を企画する。
- 9、支部ニュースは、会員投稿コーナーなど内容の工夫もしながら、読まれる交流紙として紙面の充実をめざす。
- 10、 社会保障をよくする伊丹の会・同宝塚の会に役員・事務局とも参画していく。
- 11、 医療団体として、戦争反対や核兵器廃絶などの平和を守る各地の取り組みに協力する。
- 12、 事故となれば重大な健康被害を及ぼす可能性のある原子力発電から自然エネルギーへの転換を求める。
- 13、 医療には消費税ゼロ税率を適用することで、医療機関の「損税」問題を解決し、患者負担のない完全な非課税化を求める。
- 14、 診療報酬改定研究会を医科・歯科で開催し、診療報酬の充実と是正を行う運動につなげる。

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2025年11月25日号 No.362

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 林 宗茂

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

北阪神支部第40回総会記念講演 感想文

フレイル対策の筋トレ今すぐやろう!

伊丹市・かねこ歯科診療所 歯科医師 金子 潤平



講師の谷本先生(中央上)が、筋トレのポイントについて解説

支部は10月25日に東り いたみホールで第40回支部総会を開催。2024年度活動まとめと25年度活動方針を了承した。また、新支部長として林宗茂先生を選出し、中井通治先生は名誉支部長に就任した。支部長記念講演では、「いつまでもいきいき元気に!~健康寿命を延ばす簡単筋トレ法~」と題し、順天堂大学スポーツ健康科学部教授の谷本道哉先生が講演した。医師・歯科医師・医療スタッフと市民86人が参加した。かねこ歯科診療所の金子潤平先生の感想文を掲載する。(4面に25年度方針を掲載)

近代医療の発展と食糧事情の改善は戦後80年で国民の平均寿命の延長を成し遂げました。さらに昨今では「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義される、健康寿命について注目度が上がってきています。2022年の健康寿命は

(次のページに続く)

(前のページより)

男性で72.57歳、女性で75.45歳、平均寿命は、男性で81.05歳、女性で87.09歳となっており、その差の10年程度をどう過ごすかが今後の大きな課題になります。

そんな折、保険医協会の記念講演でフレイル対策に関する谷本道哉先生のご講演があると聞きました。先生は多くのメディアで、正



速筋を鍛える筋トレをする参加者

しい筋肉の鍛え方とその有用性をご教授くださる筋肉の大家です。講演に先立ち“超ラジオ体操”で受講者の体をトレーニングモードにしてくださったのですが、前後屈一つでも先生のご指導で正しく行くと、いつもより大幅に体が伸びるのを実感できました。いよいよ本題の筋トレですが、持続力の遅筋、瞬発力の速筋の話や、それぞれの筋肉を鍛えるのに効果的な方法、そもそも筋力を上げることが健康寿命の延長にどの様に影響するのかなどのお話を、科学的根拠に基づきユーモアを交えながら丁寧に教えてくださいました。実際の筋トレは怠けた体には本当にきつかったですが確実に効いているのがわかりました。

皆様も医療従事者として患者様の健康寿命に貢献できるよう、自ら実践し患者様に伝授されてはいかがでしょうか。先生のお言葉をお借りすれば、「筋トレは今やるか、今すぐやるか」です！



幹事会だより

第455回 11月6日(木) 参加4人

◆北阪神支部の会員数と組織率

10/31現在 医科386人(78%)、歯科216人(67%)

◆情勢と医療運動対策

今後の研究会と文化企画について検討した。情勢議論では、維新がリストを出している「OTC類似薬」について議論された。

◆当面の支部活動

12月6日(土)15時~臨床研究会「老健施設医に転身して思うこと」をテーマに元宝塚市立病院院長の妙中信之先生にご講演いただく予定。伊丹市立産業振興センター6階マルチメディアホール(伊丹市)で開催予定。

◆次回幹事会

12月4日(木)14時30分~「伊丹市立産業振興センター4階会議室B」にて開催予定
お問い合わせはTEL 078-393-1805 小川・大野まで

第40回支部総会で新支部長を選出 北阪神支部支部長就任のごあいさつ 新支部長 林 宗茂

兵庫県保険医協会北阪神支部第40回総会(令和7年10月25日)にて、この度支部長に選出されました林宗茂です。そして、この27年間走り続け支部長を務められました中井通治先生がご退任されました。大変お疲れ様でした。これからは名誉支部長として承認され、今後も引き続きご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。



中井名誉支部長(右)に感謝状を手渡す林新支部長(左)

さて、私は平成10年(1998年)9

月1日より父親から林医院(消化器内科、循環器内科、一般内科)を継承し、開業しました。保険医協会へ入会し、北阪神支部の幹事会に参加しました。その当時、故小泉勇先生に勧められ、協会理事及び北阪神副支部長として18年間務めて参りました。今年の夏頃に支部から次期支部長に薦められ、支部長に立候補し、今回選出されました。

ところで、高市自民党総裁は公明党が連立を離脱し、日本維新の会と連立政権を樹立しました。維新と連立を組んだ高市政権は医療費4兆円の削減、入院病床11万床の削減、OTC類似薬の保険適用除外などを内容とする改悪で合意しており、医療や介護を今後破壊しかねない状況です。さらに、診療報酬や訪問介護報酬の引き下げ、物価高騰にともなう病院経営の悪化、医師の働き方改革、医療従事者の職場、環境の悪化などが著しく、今の政治体制が国民の命と暮らしを脅かす状況になっています。この大変厳しい社会状況の中で、少しでも国民の生活が楽になるよう、北阪神支部では事業活動を遵守してまいる所存です。そのためにも皆様のご協力とご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

兵庫県保険医協会 北阪神支部役員

(五十音順、敬称略)

【支部長】 林 宗茂

【副支部長】 川村 雅之 西山 茂樹 脇野 耕一

【支部幹事】 上り口 晃成 太田 威彦 大森 英夫 工藤 大八郎

澤村 新 島津 俊二 高島 俊永 竹内 重人

多田 和彦 谷口 紀善

【名誉支部長】 中井 通治

(任期は2025年10月~2027年9月の2年)